

駅周辺の将来イメージ
“これまでのご意見を反映した計画イメージの提示”

2月22日(木)18:30~20:30
大和郡山市役所 4F

第6回 NEWS LETTER

〒639-1198 大和郡山市北郡山町248番地4
大和郡山市役所都市建設部都市計画課
担当：まちづくり協定推進室
TEL：0743-53-1151（内線672）
E-mail：tosikei@city.yamatokoriyama.lg.jp

ワークショップの内容を市民の皆さんにお知らせするため、ニュースレターを発行しています！



全5回のワークショップでのご意見をまとめた、
近鉄郡山駅前の計画イメージ案について検討しました！

2017年3月～8月に行われた全5回のワークショップで検討した内容を反映した「近鉄郡山駅前の計画イメージ案」について、参加者の皆さんと共有しました。駅前の広場空間の配置や使い方のイメージ、またバスロータリーや駅周辺の交通動線の考え方などについて意見交換しました。

近鉄郡山駅前の計画イメージ案（県市検討案）



駅前計画の方針（案）

方針 1. 公有地活用を中心としたまちづくりを進める

- ・駅を北側に移設し、周辺施設へのアクセスを強化する
- ・郡山の顔となる駅前を整備する
- ・安全で安心な駅前を整備する

方針 2. 人と自動車のバランスの良い駅前とする

- ・適切な送迎スペースを確保する
- ・現立体駐車場の建替を行う

方針 3. 駅前に“市民の広場”を設置する

- ・人と出会い、一緒に過ごす空間をつくる
- ・仲間と活動できる空間をつくる
- ・広場の賑わいや機能をまちなかとお城に繋げる

方針 4. 広場空間は利用・運営を想定しながら計画する

- ・広場は大きすぎず、使い勝手の良い空間とする
- ・民間による運営で、利用される広場とする

方針 5. 現在不足している機能を強化する

- ・観光拠点としての機能を強化する
- ・駅前という立地を活かす飲食店を誘致する
- ・生活上必要な機能（買い物、子育て等施設）を強化する

方針 6. 駅前からまちなかへまちづくりを繋げる

- ・地域の資源を活かした「まちなか回遊」を促す
- ・リノベーションによりニーズにあった新たなコンテンツを生み出す

交通計画の方針（案）

方針 1. 通過交通の城廻り線への誘導・地区内交通の制御

- ・城廻り線を通る自動車交通の円滑化(走りやすさの実現)
- ・地区内への自動車交通の流入抑制(走りにくさの維持)

方針 2. 地区内における歩行者・自転車・自動車の共存

- ・歩行者・自転車の通行安全と、生活上必要な自動車利用の共存を図る



論点①

- ・概ねこれまでのWSでの意見が反映された計画案になっている。
- ・地下駐車場にして広場を大きくできたのは良いと思う。
- ・現駅のままで、12号踏切を自動車通行止めにして、お城方面への人の動線を確保すれば、駅周辺の混雑解消と回遊性向上ができるのではないかな。

WS意見が反映されている

◆駅前広場について

- ・駅と広場空間や矢田町通り方面を上手くつなぐようなデッキや階段等の方向の工夫が必要。
- ・市民がつくったものを駅前広場のどこかに埋め込んだりして、市民も駅前広場整備に関わると、「まちの顔」として感じられるようになるのではないかな。
- ・高校生も多いところなので、安全の確保が大事。
- ・災害時の避難所として使えるよう、広々とした場所があると良い。モニュメント等は不要。

より使いやすい工夫が必要

◆駅舎について

- ・駅のデッキ下の空間には、観光案内所や店舗などが多くあった方が良い。
- ・駅に店舗等を集め過ぎず最低限とし、まちなかの既存店舗へ誘導する方が良い。
- ・高校生たちも気軽に使える施設があった方が良い。

まちなかへ誘導(駅への賑わい施設集積を避ける)

◆交通空間について

- ・駅からバス乗降場や駐輪場まで雨に濡れることなく行けるようにしてほしい。
- ・一般車の待機場所は、地下駐車場を利用すると良いのではないかな。
- ・駐輪場の確保と、自転車の乗入ルート設定は大切。
- ・バリアフリー対応をしっかりとしてほしい。歩く距離を短縮化する動線計画が望ましい。

各交通手段の使いやすさの工夫

◆道路・踏切について

- ・矢田町通り東側は歩行者が安全に歩きやすい空間づくりが大切。
- ・12号踏切は人と自転車を分ける対策があると良い。
- ・矢田町通り西側を今の幅員のまま一方通行にするのは良いと思うが、東→西への自動車動線の確保が必要。
- ・鶯池沿いは桜がきれいなので、池の横に自動車を通さない方が良くと思う。

人にやさしい矢田町通りの空間づくり

◆現駅の跡地について

- ・現駅をどう活用するかが矢田町通り活性化のポイント。
- ・飲食店や子育て支援施設等があると、自然と駅から人の流れができるのではないかな。
- ・矢田町通りへの回遊性(まちなかへ誘導)の向上も大切。
- ・駐輪場として活用すると良いのではないかな。

駅に来やすく駅から帰りやすいルート設定が大切

論点②



アドバイザー
久先生
より

本日は、全5回のWSを基に行政が取りまとめた案に対し、改めて市民が使い手の立場で確認する大変良い機会となりました。いただいたご意見を踏まえながら、これから市や県と関係機関で調整していくこととなります。

なお、設計が固まっても広場の使い方についての検討はできるので、活用に向けた意見交換や活動は続けていきます。また、駅前広場に愛着を持ってもらえる仕組みづくりも大切です。広場を市民の手でつくったという意識醸成ために、一口寄付を活用することも考えられます。